



# 2013年3月期第3四半期 決算説明会

2013年2月1日  
株式会社NTTデータ

**NTT DATA**

1. 2013年3月期 第3四半期実績
2. 事業環境と最近の取組み
3. 巻末資料

### ご注意

※ 本資料に含まれる将来の予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、内外の経済や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。

従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

※ 本資料に掲載されているサービスおよび商品などは、株式会社NTTデータあるいは各社の登録商標または商標です。













# 1. 2013年3月期 第3四半期実績

# 2013年3月期第3四半期決算のポイント

	2013年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	前年同期比		2013年3月期 第3四半期 (10~12月)	前年同期比		進捗率
受注高	9,188億円	+ 710億円 + 8.4%		2,389億円	+ 5億円 + 0.2%		81.3%
売上高	9,118億円	+ 230億円 + 2.6%		3,070億円	▲100億円 ▲ 3.2%		71.2%
営業利益	488億円	▲25億円 ▲ 4.9%		187億円	▲ 18億円 ▲ 9.2%		57.5%
(*) セグメント利益	420億円	▲48億円 ▲ 10.3%		170億円	▲ 14億円 ▲ 7.8%		57.6%
四半期純利益	220億円	+ 56億円 + 34.6%		86億円	+ 46億円 + 118.7%		58.0%
EPS	7,863円	+ 2,022円 + 34.6%		3,072円	+ 1,667円 + 118.7%		58.0%

(\*) セグメント利益は税金等調整前四半期純利益を示す











P&Fは、単体における大規模案件の受注、及び連結拡大影響等により増加。  
 E-IT及びS&Tは、前期並み。  
 GBは、連結拡大影響等により増加。

	2013年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	前年同期比		2013年3月期 第3四半期 (10~12月)	前年同期比	
パブリック&フィナンシャル (P&F)	5,095億円	+ 517億円 + 11.3 %		1,029億円	+ 67億円 + 7.0 %	
エンタープライズITサービス (E-IT)	2,108億円	+ 2億円 + 0.1 %		600億円	▲ 115億円 ▲ 16.2 %	
ソリューション & テクノロジー (S&T)	282億円	▲ 2億円 ▲ 0.9 %		65億円	+ 5億円 + 9.8 %	
グローバルビジネス (GB)	1,690億円	+ 187億円 + 12.5 %		687億円	+ 43億円 + 6.7 %	
<b>連結値</b>	<b>9,188億円</b>	<b>+ 710億円 + 8.4%</b>		<b>2,389億円</b>	<b>+ 5億円 + 0.2%</b>	

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。前年同期比は変更後の数値に基づき算出。

(\*) 連結値はその他/消去を含むため、各セグメントの単純合算とは整合しない。

P&Fは、連結拡大影響はあるものの、前期完成大規模システムの反動減等により減収。  
 E-IT及びS&Tは、単体及び既存子会社の規模拡大影響等により増収。  
 GBは、連結拡大影響及び欧米を中心とした既存子会社における増加により増収。

	2013年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	前年同期比		2013年3月期 第3四半期 (10~12月)	前年同期比	
パブリック&フィナンシャル (P&F)	5,065億円	▲142億円 ▲2.7%		1,722億円	▲160億円 ▲8.5%	
エンタープライズITサービス (E-IT)	2,088億円	+133億円 +6.9%		670億円	+5億円 +0.9%	
ソリューション&テクノロジー (S&T)	1,201億円	+62億円 +5.5%		408億円	+13億円 +3.4%	
グローバルビジネス (GB)	1,761億円	+264億円 +17.7%		607億円	+56億円 +10.2%	
<b>連結値</b>	<b>9,118億円</b>	<b>+230億円 +2.6%</b>		<b>3,070億円</b>	<b>▲100億円 ▲3.2%</b>	

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。前年同期比は変更後の数値に基づき算出。

(\*) セグメント別は内部取引を含む。

(\*) 連結値はその他/消去を含むため、各セグメントの単純合算とは整合しない。

P&Fは、前期完成大規模システムの反動減による減収等により減益。  
 E-ITは、前期に比べ機器販売のウェイトが高くなったことや、コスト低減要請の影響等もあり減益。  
 S&Tは、全社コスト配分見直しの影響を除けばほぼ前期並み。  
 GBは、欧米を中心とした既存子会社の増収や、利益改善施策効果により増益。

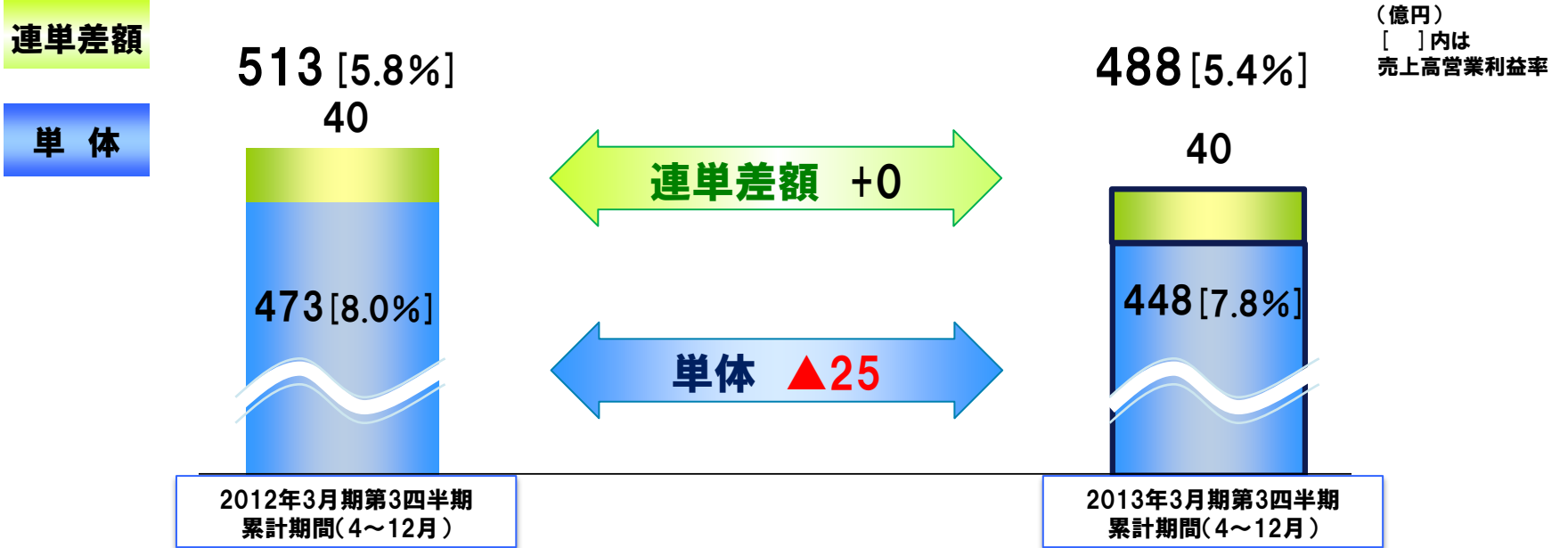
	2013年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	前年同期比		2013年3月期 第3四半期 (10~12月)	前年同期比	
パブリック&フィナンシャル (P&F)	393億円	▲ 53億円 ▲ 11.9%		159億円	▲ 12億円 ▲ 8.6%	
エンタープライズITサービス (E-IT)	50億円	▲ 8億円 ▲ 14.2%		0億円	▲ 28億円 ▲ 97.0%	
ソリューション&テクノロジー (S&T)	38億円	▲ 10億円 ▲ 20.9%		20億円	+ 1億円 + 8.0%	
グローバルビジネス (GB)	▲4億円 【59億円】	+ 13億円 + 77.3% 【+ 20億円】		3億円 【25億円】	+ 8億円 - % 【+ 8億円】	
<b>連結値</b>	<b>488億円</b>	<b>▲25億円 ▲ 4.9%</b>		<b>187億円</b>	<b>▲ 18億円 ▲ 9.2%</b>	

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。前年同期比は変更後の数値に基づき算出。  
 (\*) セグメント別は内部取引や全社費用の配分額を含む。なお、今年度から全社費用の配分方法を見直している。  
 (\*) グローバルビジネスセグメントの【】内数値はのれん償却額戻し後営業利益を示す。  
 (\*) 連結値はその他/消去を含むため、各セグメントの単純合算とは整合しない。

単体は、前期に完成した大規模システムの反動減の影響等により減益。  
 連単差額は、欧米を中心とした海外子会社の増収に伴う利益増や利益改善施策の効果等もあるものの、国内子会社における不採算案件もあり、累計期間では前期並み。

2013年3月期第3四半期

累計期間(4~12月)



会計期間(10~12月)





P&Fは、営業利益の減益影響等により減益。

E-ITは、営業減益に加え、グループ会社統合再編に伴う費用等の影響により減益。

S&Tは、オフィスビル収容見直しに伴う費用等の影響により減益。

GBは、営業増益であるものの、グループ会社統合再編に伴う費用等の影響により減益。

	2013年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	前年同期比		2013年3月期 第3四半期 (10~12月)	前年同期比	
パブリック&フィナンシャル (P&F)	395億円	▲ 42億円 ▲ 9.6%	↓	159億円	▲ 4億円 ▲ 2.5%	↓
エンタープライズITサービス (E-IT)	45億円	▲ 17億円 ▲ 27.9%	↓	▲3億円	▲ 35億円 ▲ 112.0%	↓
ソリューション & テクノロジー (S&T)	28億円	▲ 16億円 ▲ 36.5%	↓	10億円	▲ 6億円 ▲ 38.3%	↓
グローバルビジネス (GB)	▲36億円	▲ 18億円 ▲ 106.2%	↓	▲5億円	+ 0億円 + 2.1%	↑
<b>連結値</b>	<b>420億円</b>	<b>▲48億円 ▲ 10.3%</b>	<b>↓</b>	<b>170億円</b>	<b>▲ 14億円 ▲ 7.8%</b>	<b>↓</b>

(\*) セグメント利益は税金等調整前当期(四半期)純利益を示す。

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。前年同期比は変更後の数値に基づき算出。

(\*) セグメント別は内部取引や全社費用の配分額を含む。なお、今年度から全社費用の配分方法を見直している。

(\*) 連結値はその他/消去を含むため、各セグメントの単純合算とは整合しない。



## 2. 事業環境と最近の取組み

- 政府全体の歳出は抑制傾向であり、IT予算の伸びも横ばい又は微減となる見込み。政権交代による予算編成方針への影響については注視していく。
- 金融機関では、クラウド等新規分野への投資増が想定される一方、IT投資は不透明な状況。

パブリック&フィナンシャル

中央府省	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 政府全体の歳出は抑制傾向であり、IT予算の伸びも横ばい又は微減となる見込み。政権交代による予算編成方針への影響については注視していく。</li> </ul>
地方自治体・地域ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 予算は全般的に引き締め傾向にあり、IT投資の軽減が期待できる共同利用化の動きはあるものの、入札等のコスト削減要求が厳しい環境となっている。</li> <li>• 防災関連システムを中心とした安全安心分野、スマートコミュニティ分野への関心が高まる可能性がある。</li> </ul>
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IT戦略本部の新戦略(どこでもMY病院等)については、引き続き検討が進められており、状況を注視していく。</li> <li>• 後期高齢者医療制度に代わる新制度の法案提出が遅れており、IT投資時期も遅れることが想定される。</li> </ul>
大手銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IT投資抑制の可能性はあるものの、一方で、BCP(Business Continuity Plan)の一環でBPOやクラウドといった分野への投資も想定されるため今後の動向を注視。</li> <li>• 既存業務の効率化やコスト削減効果が期待できる領域については一定のニーズが見込まれる。</li> </ul>
地方銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 業態全体の業績は回復基調から横ばいに推移していることから、コストダウン意欲は依然強く、共同化・アウトソーシングニーズが継続。</li> <li>• 他行との差別化を図るための戦略システム(顧客情報管理等)にも共同化ニーズの拡大が見込まれる。</li> </ul>
協同組織金融機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 業績に影響を与える厳しい経営環境が続いており、IT投資は大幅な増加は期待できないものの安定的に推移の見通し。</li> <li>• 法制度対応等の必要最低限の投資が見込まれる。</li> </ul>
保険・証券・クレジット・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保険: 業界全体のIT投資状況は厳しいものの、新規チャネル・新商品・事務効率化等への投資が見込まれる。</li> <li>• 証券: 株高・円安により2013年3月期は黒字模様ではあるが、当面、法制度対応等、必要最低限の投資に留まる見込み。</li> <li>• クレジット: ポスト貸金業法の新ビジネス模索の流れは変わらず。マルチ端末、加盟店強化、ポイントなどが焦点。</li> </ul>

エンタープライズITサービス

## 企業収益の先行き不透明感は依然として強く、国内IT投資についても力強さに欠ける。

通信・放送・ユーティリティ	・テレコム業界では、通信設備の増強や新サービスの開発、顧客マーケティング等に関するIT投資は堅調。
製造	・案件の新規・既存問わずITコスト削減への強い要請は継続している。 ・日系企業の海外シフトが加速する中、グローバルデリバリー対応が求められている。
流通・サービス	・国内IT投資は低調に推移するも、売上拡大を目的とした顧客マーケティング強化等に関するIT投資需要が顕在化。 ・国内企業の欧州、アジア圏への進出が見受けられ、それに伴う海外IT投資需要が見られる。

ソリューション&テクノロジー

## BCPの観点から、より信頼性の高いネットワークやデータセンターへの引き合いが堅調。

ネットワーク	・金融機関向けの需要は引き続き堅調。法人分野の需要もクラウド利用・無線LAN化等に関して増加傾向にある。 ・BCPのための冗長化へのニーズに加え、ネットワークの高度化による仮想化、OpenFlow技術、M2Mの導入ニーズが見込まれる。また、スマート・デバイス向けの無線LANの投資が期待できる。
データセンタ等	・BCPの観点から、免震・耐震構造で自家発電設備や障害復旧環境を有するデータセンタ及びBCPオフィス設置の問い合わせが継続している。また、顧客企業のグローバル化に対応する海外データセンタ及びサポートのニーズや、データセンタの省電力化に対するニーズも引き続き堅調。

グローバルビジネス

## グローバルIT投資は、地域ごとに異なるものの、全体的には引き続き堅調に成長しており、コンサルティング、ITアウトソーシング、BPO、特にクラウドサービスの成長が大きい。

グローバル市場等 (海外現地ビジネス)	<p>《NA》 米国における経済の改善は弱いですが、ITサービスは、比較的外国からの影響を受けず回復の傾向を示している。一方で“財政の崖”による影響で、連邦政府の歳出削減は継続される見込み。</p> <p>《EMEA》 欧州金融危機は一応の落ち着きを取り戻したものの、景気回復は遅れを見せており、IT投資に対しては慎重である。</p> <p>《China》 中国の経済成長は緩やかになっているが、政府機関が景気刺激策を打ち出しており、IT投資向上が期待される。また、3月に開幕する全国人民代表大会後の対日政策の動きを注視していく。</p> <p>《APAC》 経済発展段階が国によって様々であるが、社会インフラの展開や設備サービス等による成長を見込んでいる。</p>
------------------------	---

1	<p>CAFISを活用した法人向け即時口座振替機能提供サービスが「楽天Edy」および「しんきん情報サービス」に導入決定</p>	<p>当社が提供する、CAFISを活用した法人向け即時口座振替機能提供サービス「即時決済ゲートウェイサービス」の、楽天Edy株式会社および、株式会社しんきん情報サービスでの採用が決定。</p>
2	<p>Twitterデータ提供サービスを開始</p>	<p>米Twitter社とのFirehose契約に基づき、Twitterデータ提供サービスを開始。ソーシャルメディア関連のビジネスを行う事業者との積極的なアライアンス活動を行うとともに、市場のニーズに合わせたより高度な分析API等を展開。</p>
3	<p>無線LANおまかせサービス™の販売を開始</p>	<p>スマートデバイスの活用が急増している世の中の動向を踏まえ、当社のクラウドデータセンターの高機能な設備を共同利用することで、セキュアな無線LAN環境を、低コスト且つ短期間で構築し、システム運用を遠隔で一元的に実施することでお客様の管理負担を軽減する「無線LANおまかせサービス」を販売開始。</p>
4	<p>「NTT DATA Business Solutions」の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•SAP等のソリューションを提供する会社群(itelligence社、及びAPAC地域3社：Extend Technologies社、Business Formula社、Cornerstone社)のブランドを「NTT DATA Business Solutions」とし、2012年11月より、先行してAPAC地域3社の商号を「NTT DATA Business Solutions」を基調とするものに統一して営業を開始。</li> <li>•ドイツitelligence社については、公開買付を実施。発行済株式数の95%以上を取得し、完全子会社化に向けてスクイズアウト手続きを開始。</li> </ul>
5	<p>オフショア拠点拡充の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•中国、インド、ベトナム等において、対日および対欧米向けオフショア開発の拠点拡大を推進中であり、子会社NTT DATA Myanmar Co., Ltd.の営業を開始。また、欧州向オフショア開発を事業主体とするベトナムIT企業IFI Solution Joint Stock Company社の発行済株式100%を取得。</li> </ul>

■第3四半期まで好調な受注をもとに、第4四半期において原価率の改善等による一層の利益確保に努め、通期業績予想の達成を目指す。

(億円 [1株当たり配当額以外]、%)

	2012年3月期 実績①	2013年3月期 予想②	増減額 ②-①	増減率 ②-①
受注高	10,984	11,300	+ 315	+ 2.9
売上高	12,511	12,800	+ 288	+ 2.3
営業利益	804	850	+ 45	+ 5.7
営業利益率	6.4	6.6	—	—
経常利益	755	780	+ 24	+ 3.2
セグメント利益 <sup>(*)</sup>	718	730	+ 11	+ 1.6
当期純利益	304	380	+ 75	+ 24.8
EPS(円)	10,854	13,547	+ 2,692	+ 24.8
1株当たり配当額(円)	6,000	6,000		

(\*)セグメント利益は税金等調整前当期純利益を示す。



### 3. 卷末資料

(単位:億円、%)

	2013年3月期 3Q 累計実績(4~12月)	対前年 同期比(%)	2013年3月期 3Q 実績(10~12月)	対前年 同期比(%)
受注高	9,188	+8.4	2,389	+0.2
受注残高	12,267	+2.2		

2013年3月期 通期計画
11,300
10,690

売上高	9,118	+2.6	3,070	△3.2
売上原価	6,901	+2.8	2,306	△3.7
売上総利益	2,216	+2.1	763	△1.6
販売費及び一般管理費	1,728	+4.2	576	+1.2
販売費	788	+4.1	266	+4.6
研究開発費	90	+1.0	29	△8.2
管理費等	849	+4.7	279	△0.8
営業利益	488	△4.9	187	△9.2
営業利益率	5.4	△0.4	6.1	△0.4
経常利益	447	△5.1	179	△2.6
特別損益	△27	-	△9	-
税金等調整前当期純利益	420	△10.3	170	△7.8
法人税等他	200	△34.5	83	△42.2
当期(四半期)純利益	220	+34.6	86	+118.7

12,800
9,560
3,240
2,390
1,110
140
1,140
850
6.6
780
△50
730
350
380

設備投資	829	△13.0	292	+5.0
減価償却費等	1,121	△2.5	380	△3.4

1,330
1,480

注:「法人税等他」には、「法人税、住民税及び事業税」のほか「法人税等調整額」及び「少数株主損益」を含む。



(単位:億円)

	2012年3月期 3Q 累計実績(4~12月)	2013年3月期 3Q 累計実績(4~12月)
パブリック&フィナンシャル	5,110	4,955
エンタープライズITサービス	1,919	2,039
ソリューション&テクノロジー	430	451
グローバルビジネス	1,420	1,660

2012年 3月期 通期実績(4~3月)	2013年 3月期 通期計画(4~3月)
7,128	7,180
2,699	2,760
592	650
2,081	2,200

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。

(単位:億円)

		2012年3月期 3Q 累計実績(4~12月)	2013年3月期 3Q 累計実績(4~12月)	2013年3月期 通期計画
<b>パブリック&amp;フィナンシャル</b>				
(再掲)	中央府省関係・海外公共機関等	907	952	1,390
	地方自治体・地域ビジネス	455	537	1,030
	ヘルスケア	179	127	180
	銀行	1,623	1,268	1,750
	協同組織金融機関	711	655	920
	保険・証券・クレジット	663	772	1,100
	決済サービス	548	615	780
<b>エンタープライズITサービス</b>				
(再掲)	通信・放送・ユーティリティ	889	979	1,310
	製造	557	641	840
	流通・サービス	331	311	450
<b>ソリューション&amp;テクノロジー</b>				
(再掲)	ネットワーク	151	158	210
	データセンタ等	210	211	320

統合ITソリューション	3,260	3,219	4,270
システム・ソフト開発	2,382	2,345	3,900
コンサルティング・サポート	2,883	3,178	4,050
その他	361	375	580
<b>製品及びサービス別の売上高(外部顧客向け) 合計</b>	<b>8,887</b>	<b>9,118</b>	<b>12,800</b>

(\*1) ソリューション&テクノロジーカンパニーの外部顧客向け売上高には他カンパニー経由の案件を含まない。

(\*2) エンタープライズITサービスは、2012年4月に、グローバルITサービスより名称を変更しました。

(\*3) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。

(単位:億円)

		2012年3月期 3Q 累計実績(4~12月)	2013年3月期 3Q 累計実績(4~12月)	2013年3月期 通期計画
<b>パブリック&amp;フィナンシャル</b>				
(再掲)	中央府省関係・海外公共機関等	1,180	1,038	1,370
	地方自治体・地域ビジネス	607	742	1,020
	ヘルスケア	149	134	150
	銀行	1,067	1,403	1,340
	協同組織金融機関	709	789	760
	保険・証券・クレジット	707	726	1,050
	決済サービス	133	231	200
<b>エンタープライズITサービス</b>				
(再掲)	通信・放送・ユーティリティ	1,000	1,001	1,320
	製造	681	671	890
	流通・サービス	299	307	390
<b>ソリューション&amp;テクノロジー</b>				
(再掲)	ネットワーク	7	16	10
	データセンタ等	180	155	260

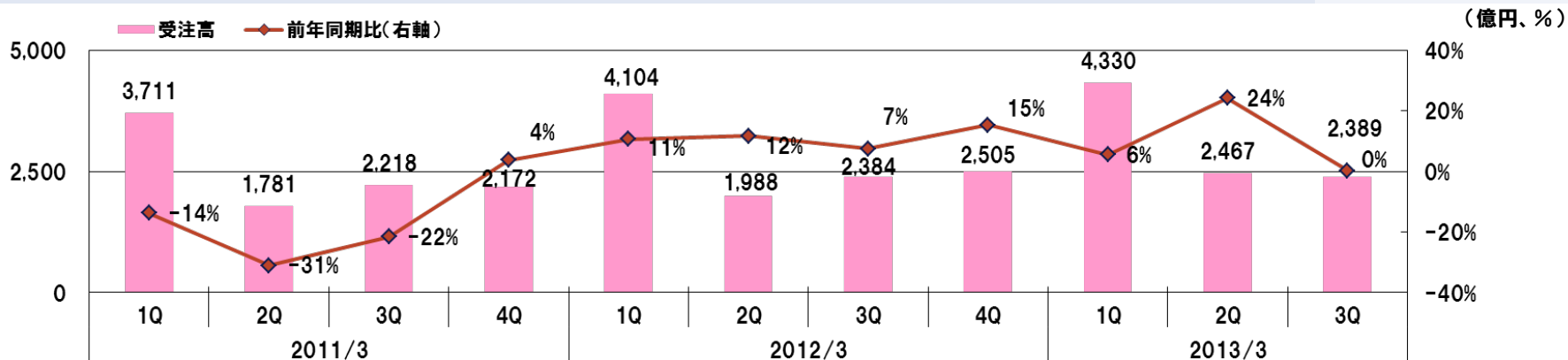
- (\*1) ソリューション&テクノロジーカンパニーの外部顧客向け売上高には他カンパニー経由の案件を含まない。
- (\*2) エンタープライズITサービスは、2012年4月に、グローバルITサービスより名称を変更しました。
- (\*3) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。

(単位:億円、%)

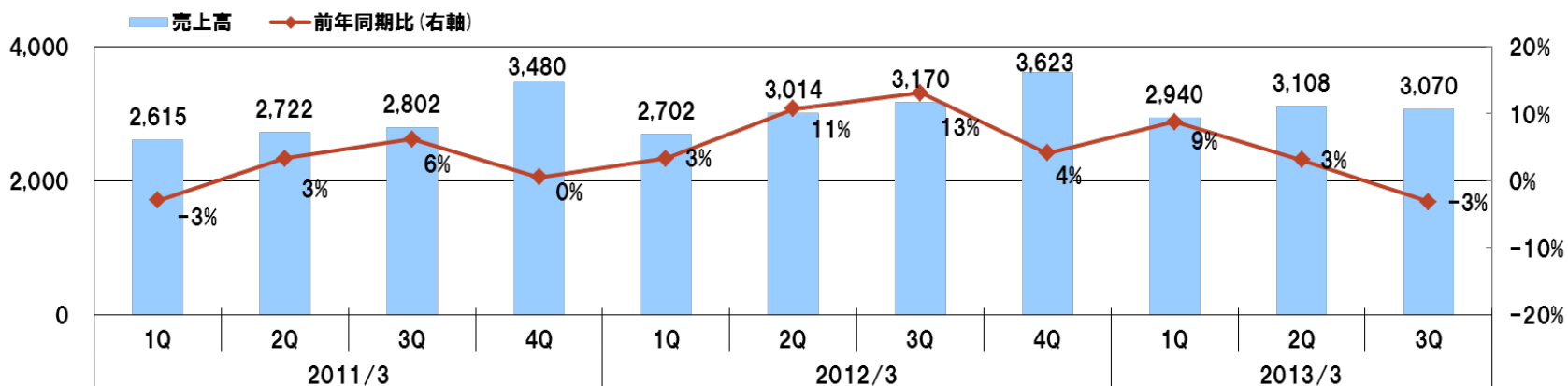
	2012年3月期 3Q 累計実績(4~12月)	2013年3月期 3Q 累計実績(4~12月)	2013年3月期 通期計画
受注高	5,234	5,596	6,500
受注残高	10,103	9,928	8,670
売上高	5,909	5,754	8,100
売上原価	4,562	4,430	6,180
売上総利益	1,346	1,324	1,920
販売費及び一般管理費	873	876	1,240
販売費	394	394	550
研究開発費	83	82	120
管理費等	395	399	570
営業利益	473	448	680
営業利益率	8.0	7.8	8.4
経常利益	472	450	630
特別損益	△41	-	△20
税引前当期純利益	430	450	610
法人税等他	229	157	220
当期(四半期)純利益	200	293	390
設備投資	801	726	1,210
減価償却費等	949	957	1,290

注:「法人税等他」には、「法人税、住民税及び事業税」のほか「法人税等調整額」を含む。

## ■受注高



## ■売上高



## ■営業利益

